

令和元年度第4回大和市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年3月25日（水） 14時30分～15時05分
- 2 場 所 大和市役所 5階 全員協議会室
- 3 出席者 市長 教育委員会（柿本教育長、青蔭教育長職務代理者、小松委員、前田委員、森園委員）
市職員（政策部長他10名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 議 題 （1）教育大綱の改定について
- 6 資 料 ・ 次第
・ 【資料1】（改定）教育大綱 施策の方向性（案）
・ 【参考資料】改定教育大綱の内容

【会議要旨】

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議題
（1）教育大綱の改定について
事務局：（資料1及び参考資料について説明）

教育長：2月末の国からの要請を受け、大和市では3月2日より市内全小中学校で一斉休業に入った。本日25日と明日26日は登校日、27日は縮小した形での卒業式を小中学校で予定している。昨日には文科省から学校再開に向けてのガイドラインが発表されたが、学校現場における新型コロナウイルスとの戦いは、いよいよこれからである。大和市全体の取り組みを踏まえつつ、具体的な対策を各学校現場で進めていきたい。

さて、教育大綱の改定にあたっては、市長と教育委員会で協議を尽くす機会として、今回を含めて、4回の総合教育会議が開催されてきた。この新しい教育大綱が策定されることで、これからの大和市の教育がどうあるべきか、その方向性をしっかり示すことができると考えている。今後は、この教育大綱の理念を実現するため、具体的な施策をこれまで以上に前進させていきたいと考えている。

教育委員：新しい教育大綱は、学校教育の面からみて、しっかりとした方針が示されてい

ると感じている。学校での教育は、基礎的な学力の向上がもっとも重要な課題であることには、もちろん変わりはない。今後は、それに加えてグローバル化を見据えたコミュニケーション能力や論理的な思考を育てる、未来を見据えた教育を進めていくことが重要になってくる。新しい教育大綱は、このような課題を捉え、大和市として取り組んでいくことを明確にした内容になっていると思う。これまでの放課後寺子屋やまとは、基礎的な学力の向上に繋げてきた重要な事業だが、来年度からは放課後ひろばと併せて平日5日間の開催とし、未来を見据えた、より充実した内容になる。

教育長が言ったように、新しい教育大綱の理念を実現するため、具体的な施策を学校現場にもしっかりと周知し、学校とともに一丸となって取り組んでいきたいと思う。

教育委員：子育ての面からみて、新しい教育大綱は大事な方針がたくさん盛り込まれていると感じている。これまでも、大和市では保育の受け皿の充実に取り組んできた。新しい教育大綱では、受け皿の「量」に加えて、「質」と「安全性」を確保することを示したのは本当に素晴らしいことで、これからの子育て世代の方々には心強いと思う。私は、常日頃、子どもたちには、小さい頃から社会に出て、地域の方々とは触れ合ったいと思っている。長いこと子どもたちを見ていて、小さい頃から社会に出ている子どもならば、大人になったときに、必ず立派な社会性を身に付けて、生きる力を備えることができると感じている。子育て世帯では、不安感、孤立感を感じている方がたくさんいる。子どもたちが社会に出るためには、まず親である、子育て世代の方々が、身近に、気軽に、交流ができるような環境も必要である。新しい教育大綱では、そうしたサポートを示している、本当に良いと思う。

また、先ほど他の委員からの発言にもあったが、来年度から放課後事業を平日5日間の開催としたことは、これも子育て世帯の方々にとって、大きなサポートになると思う。子どもたちにとっても、放課後の居場所が増え、違う学年の友達や地域の方と交流する機会が増えることで、学校の授業だけではできない様々な体験ができると思う。こうした体験は、豊かな感性を育むことにつながり、子どもたちがこれからの社会で様々な価値観を受け入れ、多くのことを感じるために本当に大切になってくると思う。新しい教育大綱を踏まえて、これからも子どもたちが様々な体験ができるよう、小さなことでも実践できるような社会を作っていきたいと思う。子どもたちが読書はもちろんのこと、スポーツ、音楽、演劇など、幅広く良質な芸術に触れることができるよう、サポートしていきたいと思う。

教育委員：新しい教育大綱が、支援や特別な配慮が必要な子どもたちにとって、大きく前進した内容になっていることをとても嬉しく思っている。その中でも、障がいの可能性や発達に不安がある子どもに対して、早期の状況把握に努めること、

一人ひとりの特性やニーズなどに寄り添った支援をしていくと示されたことに大変感謝している。早い時期に一人ひとりの状況を把握してしっかり対応することで、子どもの障がいや発達状況に改善がみられるケースを実際にたくさん見ているし、悩みや不安を抱えた保護者にとっても心の拠り所ができることは大きな安心感につながる。また、学校現場にとっても学校に入ってから気が付くより、事前にわかっていた方が適切な対応ができる。支援を必要とする子どもたちが多くなってきている中、それぞれ異なる家庭環境で生活をし、一人ひとりの特性やニーズも違う。市と教育委員会が一丸となって、それぞれに寄り添って、それぞれに合った方法で、継続して、繋がりのある支援を行っていききたいと思う。

教育委員：いじめと不登校の問題について、私の思うところを述べる。長いこと教育委員を務めているが、いじめと不登校の問題は、教育現場で常に大きな課題である。この問題は、子どもたちの成長にとって大きな障害であるため、なんとか解決したいと熱い想いを持って、真摯に取り組んでいるが、本当に解決は難しく、子どもたちに申し訳なく思っている。いじめも不登校も、時代によってその要因、様態が変わってきている。昔はカウンセラーもいなかったが、今ではカウンセラーによる支援も当たり前になった。今ではスマートフォンを使ったいじめが多くなっているが、その実態はまだ掴めていない。今後も時代に合わせてアンテナを高くしていかなければならないと考えている。新しい教育大綱では、未然防止と早期発見、早期対応だけではなく、早期解決に取り組むと示してもらった。教育委員会としては、より積極的にいじめと不登校の問題解決に向けて、今後も切れ目なく、粘り強く取り組み続けていきたいと思っている。

続いて、全体的な意見として、総括的に述べる。新しい教育大綱では、これまでの総合教育会議で教育委員会から述べた意見を積極的に取り入れてもらい、大変感謝している。現在の教育大綱を踏まえ、子どもたちには「新しい時代を生きる力を」、ご高齢のおひとりさまにとっては、「輝く人生100年時代を」、との願いを込めながら、全ての大和市民に通じる、今の時代をしっかりとらえた、未来を見据えた改定になったと感じている。教育委員会として、新しい教育大綱を教育現場としっかり共有し、「健康都市 やまと」の実現に取り組んでいきたいと思う。

所管部：本日は、改定教育大綱の案に対し、多岐にわたる前向きなご意見をいただいたものと受け止めている。まず始めに、グローバル化を見据えたコミュニケーション能力や論理的な思考力を子どもが身に付けられるように取り組んでいくことを明確に示しているとのことご意見をいただいた。また、改定教育大綱には子育ての面からの大事な方針が多く盛り込まれているとのことご意見をいただくとともに、子育て世帯の方々へのサポートに関する記載についてご賛同いただいた。さらに、支援や特別な配慮が必要な子どもたちにとって大きく前進した内容に

なっているとのご意見をいただいた。最後に、いじめと不登校の問題についてご意見をいただいた。いじめと不登校は常に大きな課題であると認識しているところであり、今後も、早期解決に導いていけるように取り組むことの重要性は変わらないと考えている。

改定教育大綱の検討については、昨年5月の第1回会議から本日の会議まで計4回にわたり、教育委員から幅広い視点で、非常に多くのご意見をいただいた。そして、本日、改定教育大綱の完成に大きく近づけたことをあらためて御礼申し上げます。令和2年度からは、教育委員会と市長部局で改定教育大綱の示す方針や方向性をしっかりと共有し、取り組みを進めていくことが重要と考えているので、引き続きご理解とご協力をお願いしたい。

市長：ただ今、事務局から説明のあった通りの方向で、教育大綱を改定したいと思うが、どうか。

(一同同意)

4 その他

5 閉会